

消化器内科コース

同時受け入れ可能人数： 3名まで

◇ 研修目標

当院での消化器内科の後期研修の目標は、卒後2年間の初期臨床研修による医療の基本的知識・技術の習得の上に、一人の消化器内科医として単独で実践できる専門医教育と臨床経験の蓄積である。後期研修は、原則として3年間の研修を予定しており、消化器関連学会のすべての専門医取得に必要な研修を行う。

また、消化器内科所属で他の内科診療科との混成のプログラムも用意しており、内視鏡検査の研鑽を行いながら内科専門医の取得が可能であり、内科系指導者会議で研修の充実度も評価している。

◇ 消化器内科の概要

1. 常勤医数 13名 非常勤医数 1名 計14名
2. 消化器内科病床数 30床
3. 内科検査 年間件数

上部消化管内視鏡 約8,000件 大腸内視鏡 約8,000件 E R C P 約400件

小腸カプセル内視鏡 約30件 小腸ダブルバルーン内視鏡 約30件 腹部超音波 約6,000件

◇ 年間入院症例数

消化器内科 約1,800人 病院全体 13,000人

◇ 研修診療体制

1. 指導医と共に共同診療体制をとっている。
2. 基本的には3年間の研修とし、当初2年間は消化器内科一般および上、下部内視鏡についての研修を行い、特殊検査、手技等を習得し、消化器疾患全体の患者さんに対応できるような研修を行う。その間に、臨床病理（消化器中心）研修を行い、診断学向上を図る。その後1年間は各自の希望する研修を行い、上、下部の内視鏡治療を中心に、肝胆膵疾患の診療を重点的に行い、また、各種専門医の取得ができるまでの研修を行う。

******消化器内科スケジュール******

同時期3人研修として、下記ABCで4か月ごとにローテートするが、研修人数により変更となる。
時間的余裕があれば自分の必要な検査等に積極的に参加すること

A

	月	火	水	木	金
午前	内視鏡	腹部エコー	内視鏡	内視鏡	救急
午後	内視鏡	内視鏡	消化管エコー	アンギオ	フリー
			内視鏡カンファレンス 18時45分		

B

	月	火	水	木	金
午前	腹部エコー	内視鏡	救急	内視鏡	内視鏡
午後	フリー	内視鏡	アンギオ	内視鏡	内視鏡
			内視鏡カンファレンス 18時45分		

C

	月	火	水	木	金
午前	内視鏡	救急	内視鏡	腹部エコー	内視鏡
午後	内視鏡	アンギオ	内視鏡	フリー	内視鏡
			内視鏡カンファレンス 18時45分		

◇ 宿日直

原則として内科系当直を分担し単独で行うが、必要に応じて専門医の援助を求める。

◇ 研究活動・専門医取得

1. 消化器内科・消化器一般外科合同カンファレンス（術前・術後）などに参加し、学会発表、研究論文投稿なども積極的に行う。
2. 日本内科学会認定医制度教育病院であり、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会などの研修施設の認定を受けており、各種の専門医の研修が可能であり、専門医取得の資格が習得できる。

なお、新しい専門医制度については、岡山大学病院の連携施設となっている。詳細については、

http://www.naika.or.jp/jsim_wp/wp-content/uploads/2017/10/339800011.pdfを参照。

【消化器内科】

- ・院長補佐 稲葉 知己 平成元年卒 岡山大
- ・部長 和唐 正樹 平成4年卒 岡山大
- ・部長 石川 茂直 平成7年卒 自治医科大
- ・部長 田中 盛富 平成9年卒 岡山大
- ・部長 高橋 索真 平成12年卒 自治医科大
- ・医長 泉川 孝一 平成14年卒 自治医科大
- ・医長 山本 久美子 平成14年卒 滋賀医科大
- ・部長 榊原 一郎 平成15年卒 広島大
- ・医長 岡本 邦男 平成17年卒 近畿大
- ・医長 河井 裕介 平成21年卒 自治医科大
- ・医師 コルビン 真梨子 平成23年卒 英国ダンディ大
- ・医師 青山 祐樹 平成25年卒 岡山大
- ・医師 香川 朋 平成25年卒 香川大
- ・医師 松枝 真由 平成25年卒 岡山大